

# 社会資本総合整備計画（活力創出基盤）

平成 28年 3月 22日

（参考様式 2）

計画の名称	16 通学路等の要対策箇所における安全確保の推進										
計画の期間	平成 28 年度	～	平成 28 年度	交付対象	福島県、本宮市、棚倉町						
計画の目標	通学路等の生活空間における安全・安心の確保を図るため、事故防止、予防保全を基本とした交通安全対策を進める。										
計画の成果目標（定量的指標）	「緊急合同点検等」により抽出された要対策箇所の解消を進め、通学路の安全確保を図る。										
定量的指標の定義及び算定式	「緊急合同点検等」により抽出された要対策箇所の解消率を算出する。 (通学路における要対策箇所の解消率) = (解消済み要対策箇所) / (要対策箇所)					定量的指標の現況値及び目標値			備考		
						当初現況値	中間目標値	最終目標値			
						0%	50%	100%			
全体事業費	合計 (A+B+C)	10,298 百万円	A	10,298 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)		0.0%

## 交付対象事業

A 基幹事業														全体事業費 (百万円)	備考		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)						
											H28	H29	H30			H31	H32
16-A2	道路	一般	福島県	直接	福島県	国道	交安	(国)399号 片町工区	交差点改良 L=340m	伊達市					463		
16-A6	道路	一般	福島県	直接	福島県	都道府県道	交安	(一)二本松川俣線 油井工区	歩道整備 L=620m	二本松市					1,020		
16-A7	道路	一般	福島県	直接	福島県	都道府県道	交安	(主)福島飯坂線 平野工区	交差点改良 L=240m	福島市					360		
16-A12	道路	一般	福島県	直接	福島県	都道府県道	交安	(一)本宮常葉線 堤崎工区	交差点改良 L=560m	本宮市					500		
16-A16	道路	一般	福島県	直接	福島県	都道府県道	交安	(主)福島吾妻裏磐梯線 北谷地工区	交差点改良 L=300m	福島市					200		
16-A17	道路	一般	福島県	直接	福島県	都道府県道	交安	(主)本宮熱海線 荒井工区ほか	交差点改良 L=400m	本宮市					400		
16-A18	道路	一般	福島県	直接	福島県	都道府県道	交安	(一)福島安達線 油井工区	交差点改良 L=250m	二本松市					400		
16-A19	道路	一般	福島県	直接	福島県	都道府県道	交安	(主)本宮熱海線 兼谷平工区	歩道整備 L=250m	本宮市					100		
16-A20	道路	一般	福島県	直接	福島県	都道府県道	交安	(一)丸森梁川線 高倉工区	歩道整備 L=700m	伊達市					500		
16-A21	道路	一般	福島県	直接	福島県	都道府県道	交安	(一)福島停車場線 栄町工区	歩道整備 L=250m	福島市					500		
16-A123	道路	一般	福島県	直接	福島県	都道府県道	交安	(一)芦ノ口大槻線 桜木工区	交差点改良 L=480m	郡山市					550		
16-A202	道路	一般	福島県	直接	福島県	国道	交安	(国)294号 白坂工区	歩道整備 L=440m	白河市					505		
16-A204	道路	一般	福島県	直接	福島県	都道府県道	交安	(一)赤坂東野塙線 赤坂橋工区	歩道整備 L=730m	塙町					835		
16-A207	道路	一般	福島県	直接	福島県	国道	交安	(国)294号 町屋工区	交差点改良 L=750m	白河市					1,234		
16-A213	道路	一般	福島県	直接	福島県	都道府県道	交安	(主)伊王野白河線 夏梨工区	歩道整備 L=400m	白河市					214		
16-A215	道路	一般	福島県	直接	福島県	都道府県道	交安	(一)泉崎石川線 榎富橋工区	歩道整備 L=40m	泉崎村					275		
16-A217	道路	一般	福島県	直接	福島県	国道	交安	(国)294号 中沢工区	歩道整備 L=400m	白河市					176		
16-A220	道路	一般	福島県	直接	福島県	都道府県道	交安	(一)石川矢吹線 神田西工区	歩道整備 L=2,000m	矢吹町					200		
16-A221	道路	一般	福島県	直接	福島県	都道府県道	交安	(一)矢祭山八槻線 赤沢橋工区	歩道整備 L=320m	塙町					400		
16-A222	道路	一般	福島県	直接	福島県	都道府県道	交安	(主)棚倉矢吹線 北町橋工区	歩道整備 L=200m	白河市					350		
16-A223	道路	一般	福島県	直接	福島県	都道府県道	交安	(主)白河羽鳥線 羽太橋工区	歩道整備 L=90m	西郷村					420		
16-A301	道路	一般	福島県	直接	福島県	都道府県道	交安	(国)252号 細八工区	歩道整備 L=220m	柳津町					60		
16-A502	道路	一般	福島県	直接	福島県	都道府県道	交安	(一)高隣田島線 中妻工区	路肩拡幅 L=1,200m	下郷町					205		

(参考様式2)

# 社会資本総合整備計画（活力創出基盤）

平成 28年 3月 22日

計画の名称	16 通学路等の要対策箇所における安全確保の推進															
計画の期間	平成 28 年度	～	平成 28 年度	交付対象	福島県、本宮市、棚倉町											
計画の目標	通学路等の生活空間における安全・安心の確保を図るため、事故防止、予防保全を基本とした交通安全対策を進める。															
計画の成果目標（定量的指標）	「緊急合同点検等」により抽出された要対策箇所の解消を進め、通学路の安全確保を図る。															
定量的指標の定義及び算定式	「緊急合同点検等」により抽出された要対策箇所の解消率を算出する。 (通学路における要対策箇所の解消率) = (解消済み要対策箇所) / (要対策箇所)										定量的指標の現況値及び目標値			備考		
	当初現況値			中間目標値			最終目標値									
	0%			50%			100%									
全体事業費	合計 (A+B+C)			10,298 百万円	A	10,298 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)			0.0%		
16-A707	道路	一般	福島県	直接	福島県	都道府県道	交安	(主)いわき浪江線 大森工区	歩道整備 L=600m	いわき市				110		
16-A1007	道路	一般	棚倉町	直接	棚倉町	市町村道	交安	(1)玉野逆川線 玉野工区	歩道整備 L=0.70km	棚倉町				149		
16-A1020	道路	一般	棚倉町	直接	棚倉町	市町村道	交安	(他)六石平桃木田線 下山本工区	歩道整備 L=0.40km	棚倉町				31		
16-A1085	道路	一般	棚倉町	直接	棚倉町	市町村道	交安	(他)ルネサンス棚倉線 関口工区	通学路安全対策	棚倉町				60		
16-A1086	道路	一般	棚倉町	直接	棚倉町	市町村道	交安	(他)北町新町2号線外 棚倉工区	通学路安全対策	棚倉町				50		
16-A1091	道路	一般	本宮市	直接	本宮市	市町村道	交安	(他)甲斐2号線	歩道整備 L=0.11km	本宮市				31		
合計													10,298			
B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H28	H29	H30	H31	H32		
合計													0			
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	
6-B1	信号機を設置することにより、交通の安全と円滑な交通流を確保し、道路の安全性を図り、基幹事業と一体的に効果を高め、地域の復興を推進する。															
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H28	H29	H30	H31	H32		
合計													0			
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	

# 社会資本整備総合交付金チェックシート

P16

計画の名称：通学路等の要対策箇所における安全確保の推進  
 事業主体名：福島県、棚倉町、会津美里町

## チェック欄

I. 目標の妥当性		
①上位計画等との整合性		○
②地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)		○
II. 計画の効果・効率性		
①整備計画の目標と定量的指標の整合性		○
②定量的指標の明瞭性		○
③目標と事業内容の整合性		○
④事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性		○
III. 計画の実現可能性		
①円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性)		○
②地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)		○